

おいわ 御岩山と御岩神社



(表紙写真提供：御岩神社)

御岩山は「常陸国最古の霊山」として知られ、「茨城百景」の1つにも数えられています。その歴史は深く、1300年の時を超えて現代に伝わる「常陸国風土記」には、「かびれの高峰（御岩山の古称）に天つ神鎮まる」と残されています。

国有林がうっそうと生い茂る山の中腹には、古来より“神々が棲む聖地”として崇められてきた御岩神社が鎮座しています。神社では、くじのとこたちのかみ 国之常立神、おおくにぬしのかみ 大国主神、いざなぎのかみ 伊邪那岐神、いざなみのかみ 伊邪那美神、おおやまづみのかみ 大山祇神のほか20柱、御岩山全体で188柱の神々が祀られています。

山に足を一步踏み入れると、高い木々が太陽の光を遮り、辺りは薄暗く厳かな雰囲気包まれます。神社参道を進むと目の前に、幹周84m、樹高約60m、枝張7~8m、推定樹齢600歳を数える御神木「三本杉」が現れ、その荘厳な姿に圧倒されることでしょう。

三本杉は地上から約3m部分で3本の幹に分かれ、まっすぐ空へと伸びています。また、三又部分に天狗が棲んでいたという伝説から「天狗杉」とも呼ばれています。昭和43年、茨城県の天然記念物に指定、平成12年には林野庁が発表した「森の巨人たち100選」に県内で唯一選ばれました。

御岩神社の奥から山頂に続く道を登り切ると、530mの頂からは西側に那須連山、東側に日立の市街地や太平洋など美しい景色を望むことができます。

青葉が眩しいこの季節、ご家族・ご友人とともに、関東有数・県下最大の霊山・御岩山と御岩神社を訪れてみてはいかがでしょうか。



◆場 所：茨城県日立市入四間町752

◆アクセス：

【車】常磐自動車道日立中央ICより約10分

【電車】JR常磐線日立駅より、タクシーで約20分、バスで約35分

筑波総研株式会社 研究員 富山かなえ